

第1章 基本的事項

趣旨

被保険者の健康の保持増進に資することを目的として構成41市町（29市12町）の連携・協力のもと、平成27年5月に第1期データヘルス計画を策定し、保健事業の効果的かつ効率的な実施を図ってきました。第1期計画の結果や課題を踏まえて、平成30年度からを第2期と位置づけ、健康診査等の結果やセプトデータ等の健康・医療情報を活用・分析し、健康課題に即した効果的かつ効率的な保健事業を実施するため、被保険者の健康の保持増進に資することを目的とした第2期計画を策定します。

計画期間

データヘルス計画	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
第1期計画	計画期間：3か年								
第2期計画				計画期間：6か年					

市町との連携

各保健事業は構成市町が主導的な役割を担い、兵庫広域は情報提供等、構成市町が円滑に事業を実施できるよう支援を行います。

第2章 現状の分析と評価

各地域の健康課題

但馬

- ・地域別の1人当たり医療費は県下で最も低い。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、いずれも県平均を下回っている。
- ・1人当たり医療費を3要素別に分解してみると、全体的な受診率の低さが1日当たりの医療費の低さに寄与していると考えられる。
- ・入院外医療費における高血圧症の割合が県平均よりも高い一方、脂質異常症の割合は県平均より特に低かった。

西播磨

- ・地域別の1人当たり医療費は県下で3番目に低い。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、いずれも県平均を下回っている。
- ・1人当たり医療費を3要素別に分解してみると、入院にかかる1日当たり医療費及び入院外・歯科・調剤にかかる受診率が、1人当たりの医療費の低さに寄与していると考えられる。
- ・関節疾患の割合が入院・入院外医療費のいずれにおいても県平均より高く、また、糖尿病の割合も入院外医療費において高い傾向にあった。入院医療費における骨折の割合は県平均より低かった。

中播磨

- ・地域別の1人当たりの医療費は県下で2番目に低い。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、いずれも県平均を下回っている。
- ・1人当たり医療費を3要素別に分解してみると、入院・調剤にかかる受診率、入院外にかかる1件当たり日数及び歯科にかかる1日当たり医療費が、1人当たりの医療費の低さに寄与していると考えられる。
- ・慢性腎不全（透析あり）の割合が入院・入院外医療費のいずれにおいても県平均より高く、また、糖尿病の割合も入院外医療費において高い傾向にあった。

東播磨

- ・地域別の1人当たり医療費は、県下で中位に位置している。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、入院及び入院外が県平均を下回っており、歯科及び調剤が県平均をやや上回っている。
- ・慢性腎不全（透析あり）の割合が入院・入院外医療費のいずれにおいても県平均より高い傾向にあった。

丹波

- ・地域別の1人当たり医療費は県下で3番目に高い。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、入院外、歯科及び調剤が県平均を下回る一方、入院が平成28年度で5年前と比較し2割以上増加し、県下で最も高くなっている。
- ・1人当たり医療費を3要素別に分解してみると、入院にかかる受診率の伸びが1人当たり医療費の高さに寄与していると考えられる。
- ・入院医療費において脳梗塞及び肺炎の割合が県平均よりも高く、入院外医療費においては高血圧症の割合も県平均より高かった。

北播磨

- ・地域別の1人当たり医療費は、県下で中位に位置している。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、入院及び調剤が県平均を上回り、特に入院について28年度には県下で2位となった一方、入院外及び歯科は県平均を下回っている。
- ・1人当たり医療費を3要素別に分解してみると、入院にかかる受診率が1人当たりの医療費の高さに寄与していると考えられる。
- ・慢性腎不全（透析あり）の割合が入院・入院外医療費のいずれにおいても県平均より高い傾向にあった。

阪神北

- ・地域別の1人当たり医療費は、県下で中位に位置している。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、入院及び歯科が県平均を上回り、入院外及び調剤が県平均を下回っている。
- ・1人当たり医療費を3要素別に分解してみると、歯科にかかる受診率が1人当たりの医療費の高さに寄与していると考えられる。

阪神南

- ・地域別の1人当たり医療費は、県下で最も高い。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、いずれも県平均を上回っているが、特に入院外が県平均を4万円以上上回っており（25年度以降）県下で最も高くなっている。
- ・1人当たり医療費を3要素に分解してみると、入院にかかる1日当たり医療費、入院外・調剤にかかる1件当たり日数及び歯科にかかる受診率が、1人当たり医療費の高さに寄与していると考えられる。
- ・入院外医療費における高血圧症の割合が県平均よりも低く、脂質異常症の割合が県平均よりも高い傾向にあった。

神戸市

- ・地域別の1人当たり医療費は、阪神南地域に次いで県下で2番目に高い。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、いずれも県平均を上回っているが、特に調剤が県下で最も高い。
- ・1人当たり医療費を3要素に分解してみると、入院にかかる1日当たり医療費及び入院外・歯科・調剤にかかる受診率が、1人当たり医療費の高さに寄与していると考えられる。
- ・入院医療費における脳梗塞の割合が県平均よりも低かった。

淡路

- ・地域別の1人当たり医療費は県下で中位に位置している。
- ・1人当たり医療費について、入院、入院外、歯科及び調剤の別では、入院外、歯科及び調剤が県平均を下回る一方、入院は県平均を上回り県下で3番目に高い。
- ・1人当たり医療費を3要素別に分解してみると、入院にかかる受診率が1人当たりの医療費の高さに寄与していると考えられる。
- ・入院医療費において骨折及び脳梗塞の割合が県平均より高かった。



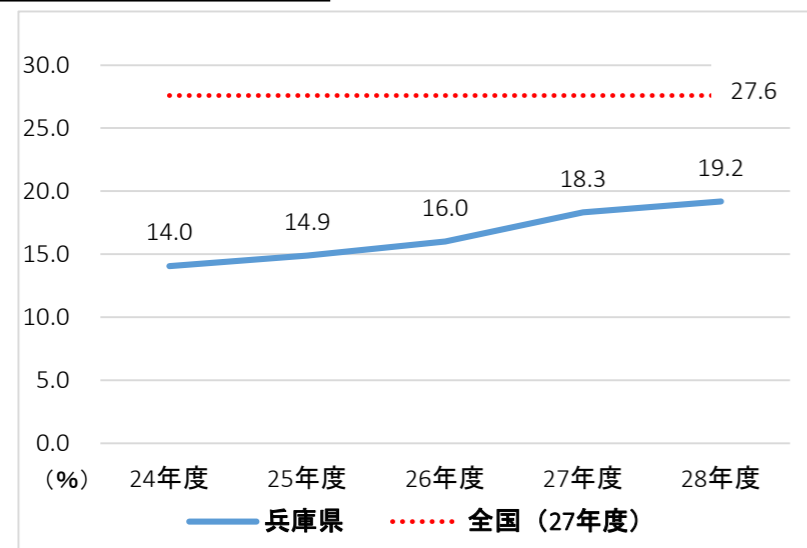
第2章 現状の分析と評価（続き）

健康診査の状況

兵庫広域では、生活習慣病の早期発見や重症化予防、健康づくりを目的に、健康診査事業を実施しています。健康診査は、それぞれの地域の実情に応じて実施していくことが望ましいという観点から、各市町が実施主体となっており、兵庫広域は、その経費を補助する方式を採っています。

受診者数及び受診率は、年々僅かながら向上していますが、市町ごとに受診方法や受診勧奨等の状況が異なるため、全国平均を下回る状況が続いています。

健康診査受診率の推移



構成市町と兵庫広域の役割分担

第2期計画の目標を達成するため、構成市町と兵庫広域は以下の役割を果たすこととします。

健康診査受診率の一層の向上	
構成市町	受診率の向上、拡大に取り組む。
兵庫広域	構成市町へ財政支援を行う。
口腔ケア事業の拡充	
構成市町	歯科健診等の受診者数の増加を目指す。
兵庫広域	構成市町へ財政支援を行う。
データ分析に基づく保健事業への着手	
構成市町	市町の課題や方針に沿った効果的・効率的な保健事業の実施について検討する。
兵庫広域	地域ごとに健康課題が異なることを踏まえ、構成市町へ医療データを提供等し、構成市町の保健事業の取組に役立ててもらおうとともに、財政支援を行う。
兵庫県下全域を対象とした保健事業の実施	
兵庫広域	より効果的・効率的な実施形態を検討し、重複・頻回受診者への家庭訪問事業を実施する。

第3章 第2期データヘルス計画の実施

第2期計画の目標

(1) 健康診査受診率の一層の向上

第1期計画において目標としていた兵庫広域全体の健康診査受診率20%は、ほぼ達成されました。今後については、健康診査受診率の全国平均（平成27年度実績：27.6%）以上を目指します。

(2) 口腔ケア事業の拡充

第1期計画においては歯科健診を全市町で実施することを目標としていました。結果として多くの市町で実施することはできましたが、受診者数はごく少数にとどまっています。誤嚥性肺炎やフレイルの予防による健康寿命の延伸という観点から、歯科健診の受診者数の増加を目指すとともに、口腔ケアに関する相談・指導等を実施することにより、口腔機能の維持・改善を図ります。

(3) データ分析に基づく保健事業への着手

第2章で述べたとおり、兵庫県は地域ごとに1日当たり医療費や疾病の状況等の健康課題が異なります。このため、兵庫県全体だけではなく各市町の健康課題を明確にし、課題解決に向けて取り組む必要があります。市町ごとに医療・健康診査・介護データ等を分析し、地域特性や市町の方針に基づいて重症化予防、低栄養防止（フレイル対策）など効果的・効率的な保健事業に取り組めます。

(4) 兵庫県下全域を対象とした保健事業の実施

被保険者が自ら健康管理の意識を高め、健康に関心を持ちながら生活が送れるよう、県下全域を対象とした保健事業を実施します。

健康診査事業					
目的及び概要	糖尿病等の生活習慣病やその他疾病を早期に発見し、適切な受療で重症化及び心身機能低下を予防するとともに、被保険者の健康の保持増進・改善を図ることを目的として実施します。				
事業評価	評価指標	実績値		目標値	
		H28年度	H29年度	H30～34年度	H35年度
	受診率	19.18%	19.90%	前年度以上	27.6%以上
歯科健康診査事業					
目的及び概要	口腔内の状態を知り、歯・歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックすることで、被保険者の健康意識の向上及び口腔機能低下の予防を図るとともに、高齢者に多く発生する疾病予防につなげることを目的として実施します。				
事業評価	評価指標	実績値		目標値	
		H28年度	H29年度	H30～34年度	H35年度
	受診者数	5,032人	5,889人	前年度以上	6,200人
訪問歯科健診、相談・指導（フレイル対策）					
目的及び概要	訪問歯科健診とともに、オーラルフレイル予防の訪問相談・指導等を行い、口腔機能低下、低栄養や筋力低下等による心身機能低下、肺炎等の感染症の予防を図ることを目的として実施します。				
事業評価	評価指標	実績値		目標値	
		H28年度	H29年度	H30～34年度	H35年度
	事業を実施する市町数	1	1	前年度以上	10
重症化予防事業					
目的及び概要	糖尿病や高血圧等の生活習慣病の重症化の恐れがある被保険者に対し、医療機関への受診勧奨などを行い、治療につなげるとともに、人工透析への移行を防ぐなど重症化予防を目的とした保健指導等の事業を実施します。				
事業評価	評価指標	実績値		目標値	
		H28年度	H29年度	H30～34年度	H35年度
	事業を実施する市町数	3	2	前年度以上	10
低栄養防止事業（フレイル対策）					
目的及び概要	低栄養、筋力低下等による心身機能の低下の予防、抵抗力低下に伴う肺炎等の感染症の発生を抑制するため、高齢者の特性を踏まえた事業（専門職による立ち寄り型の相談や訪問相談・指導等）を実施します。				
事業評価	評価指標	実績値		目標値	
		H28年度	H29年度	H30～34年度	H35年度
	事業を実施する市町数	—	0	前年度以上	5
重複・頻回受診者訪問指導					
目的及び概要	重複・頻回受診者の健康保持と疾病管理を促すため、レセプト情報により抽出した重複・頻回受診者に対し、保健師又は看護師が個別訪問して指導・健康相談等を実施します。				
事業評価	評価指標	実績値		目標値	
		H28年度	H29年度	H30～34年度	H35年度
	訪問指導の改善割合	28.2%	12.8%	前年度以上	32%